

質疑応答の概要(南荻島出津、堤根、さしきだ、中組)第3回 R2.2

【道路計画に関すること】

Q: 歩道に対する考え方は。北越谷地区と南荻島地区が分断される。

北越谷駅までのアクセスはどのように考えているのか。

A: 4. 5m幅の歩道を整備します。北越谷駅までは、都市計画道路大間野南荻島線との交差点に設置する横断歩道の利用を考えています。

Q: 県道越谷流山線との交差を立体で要望していたことに対する回答は。

A: 県道越谷流山線との交差は平面とします。浦和野田線と交差する道路を平面で接続させることで、周辺地域の利便性向上と交通渋滞緩和の効果があると考えています。また、将来交通量を推計したところ、混雑することは予測されていません。立体は平面交差点で混雑する場合の対応策として計画することになります。

Q: 県道越谷流山線との交差点が混雑することで、岩槻方面から南下してくる車により文教大学通りから県道越谷流山線へ出れなくなつては困る。

A: 岩槻方面から南下してくる車は、国道4号バイパスから浦和野田線へのアクセスが予測されます。県道越谷流山線との交差点が混雑しないよう、対策をしていきます。

Q: ボトルネック協議会出典資料は、いつの交通調査の結果を反映させたのか。

A: 確認して回答します。

Q: 幹線道路ができることで沿線の事故が増えては困る。

既に完成している国道463号バイパスなどの交通事故の状況はどうなのか。

A: 後日、確認して回答します。

<確認結果>

国道463号バイパス(さいたま市境～国道4号)において、平成27年1月以降、交通事故が26件発生しています。

Q: 1日あたり28,000台の交通量は、いつ時点のことを考えているのか。

結局、遠い将来まで道路が出来ないのであれば、意味がない。

A: 令和12年の交通量を考慮しています。今から約10年間で道路整備を進めていき、計画との整合が図られると考えています。

Q: 今後の予定として都市計画の変更とあるが、何を変更するのか。

A: ルートの変更をします。具体的には、元荒川の中を通過する形で都市計画決定されている現在のルートを、元荒川の左岸側に振るルートに変更します。

Q:横断歩道はどこにできるのか。

横断歩道の青時間間隔はどうなっているのか。

A:都市計画道路大間野南荻島線との交差点に横断歩道を設置する予定です。

信号のサイクルタイムについて、警察と協議していきます。

Q:赤信号でも止まらない車があり、事故を起こす。赤信号でも止まらない車に対して、対策をするべき。

A:信号機が視認しやすい交差点整備など安全対策に努めます。

【周辺環境に関すること】

Q:河川、沿道環境などへの影響がないとは、どのような考えなのか。

A:河川については、河川の中に道路を通す事による河積の阻害や、橋梁の日陰空間による自然生物へ影響という点から評価をしています。

沿道環境については、浦和野田線と沿道の接続の可否や、高架構造による住宅や河川への日照の阻害、また構造物による圧迫感、眺望という点から評価しています。

Q:環境調査の結果が示されていない。

A:令和元年秋から1年間かけて調査を実施します。全ての調査が完了しましたら、結果を示します。

Q:道路が建設されることによって、元荒川への影響はないのか。

A:元荒川に干渉しないため、影響がないルートとして計画しています。

Q:元荒川の堤防も併せて整備するのか。

A:河川管理者と協議をしています。

Q:浦和野田線の本線を利用する車がいる一方、抜け道に入ってくる車も増える。

地域の人に寄り添った道路づくりをお願いします。

A:安全や事故、横断歩行者など地域の方に寄り添う道路づくりを進めていきます。

【事業計画に関すること】

Q:区内道路の混雑緩和ということであれば、東武鉄道高架下の道路予定地を先行して整備することも検討すべき。

A:先行整備も視野に入れて検討します。

Q:第3ステップ(用地買収、工事など)の期間をどの程度で考えているのか。

A:約10年間で考えています。

Q:道路建設に費用を費やす一方で維持管理費をどのように考えているのか。

A:道路を建設するだけでなく、維持管理についてもしっかり取り組んでいきます。
建設と維持管理、バランスのとれた予算を確保し、整備を推進していきます。

【合意形成に関すること】

Q:道路建設により広域的なメリットはあるが、周辺地区は現在の住環境が壊れてしまう。
もっと、住民の意見を聞くべきではないか。

A:昨年度の説明会にて頂いた意見も含め検討した結果、左岸案とさせて頂きました。
ご理解とご協力をお願いします。

Q:変更にあたり、今後、住民の意見を聞く場を設けることはあるのか。

A:必要に応じて、対応していきます。

【周辺道路に関すること】

Q:出津橋の検討状況は。

A:(越谷市)

県の道路整備計画と合わせて、検討していきます。

Q:イメージパスでは出津橋の先にある道路と接続しない。接続しないと遠回りで困る。

A:横断箇所は都市計画道路大間野南荻島線との交差点で考えていますが、地域の方の
横断利用は配慮していきます。

Q:神明橋の渋滞対策は。

A:右折帯を設置することは、困難としています。

信号のサイクルタイムを変更するなど、対策について警察と協議しています。

Q:神明町2丁目交差点における渋滞を解消するべきではないか。

神明橋の右折帯がないことが原因と分かっているのか。

A:渋滞の原因は、北越谷地区から北上するための右折帯がないことと把握しています。

浦和野田線が整備されれば都市計画道路大間野南荻島線を通じて、北上するための
車が転換され、神明町2丁目交差点の渋滞が緩和されると見込んでいます。

浦和野田線の整備完了まで何もしないということではなく、信号機のサイクルタイムの
見直しに向け、警察と協議をしています。

Q:都市計画道路大間野南荻島線を延伸して、南荻島地区と接続させなければ利便の
向上にはならない。橋りょうをかけて、接続させてほしい。

A:(越谷市)

現時点では、接続させる考えをもっていません。

Q:都市計画道路大間野南荻島線は、越谷市蒲生の方まで計画があるのか。

A:(越谷市)

越谷市蒲生までの計画があります。一部は、完成している区間もあります。
未着手区間は、都市計画の見直しを含めて検討課題だと考えています。

Q:埼玉県区間だけ整備しても、千葉県の中を通過できなければいけない。

千葉県の状況はどうか。

A:千葉県とも連携して事業を進めていきます。

<要望事項>

- ・橋りょうができれば元荒川の流れが変わるため、対応をしっかりとすること。
- ・駅までのアクセスとして、コミュニティバスの検討をお願いします。
- ・元荒川の自然環境に対する調査はマニュアルに基づく調査だけでなく、地域の実情を踏まえること。
- ・通過交通による環境の悪化や北越谷駅までのアクセスの悪化を懸念している。
- ・更なる、柔軟な道路構造の検討をお願いしたい。